

競 技 注 意 事 項

本大会は、2018年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会申し合わせ事項によっておこなう。

1 練習について

練習は、補助競技場および雨天練習場（使用方法について下記参照）を原則とする。投てき競技（円盤投、ソフトボール投、ジャベリックスロー）の練習は、招集完了後、係員の指示に従って競技場内で行う。砲丸投の練習は、補助競技場内トラック外側の砲丸投ピットのみで行う。使用の際は係員の指示によって行う。

補助競技場の使用について

レーンの使用については以下の通りである。

- ・ 1～2レーンは周回練習のみ使用可とする。
- ・ 3～4レーンは短距離練習のみ使用可とする。
- ・ ブロックを使用してのスタート練習は多目的広場側直走路5～10レーンのみとする。
- ・ 多目的広場側直走路7・8レーンは女子100mH、9・10レーンは男子110mHとする。
- ・ リレーの練習は用具倉庫前第2コーナー付近を利用して行うこと。※第4コーナー付近でのリレー練習は行ってはならない。

雨天練習場の使用について

- ①雨天練習場でのピストルの使用は禁止する。
- ②雨天練習場へは、第2ゲート側の入り口より入場することができる。第3ゲートからの出入りは禁止する。
- ③シート等を敷いて独占的な使用をすることを絶対にしない。
- ④ウォーキング・ジョギングなどペースが著しく遅いウォーミングアップまたは、動きづくり程度の練習は行ってもよい。以外は、補助競技場で行うこと。
- ⑤ウォーキング・ジョギング等は、左回りとし、逆走はしない。
- ⑥ハードルは使用できない。

棒高跳について

競技開始60分前から現地にて跳躍練習を行うことができる。ただし、他の競技に影響がでないように、審判員の指示に従うこと。

2 スパイクシューズの制限について

全天候競技場であるため、スパイクの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳は12mm以下とする。

3 ナンバーカードについて

- ①ナンバーカードは指定された数字が明瞭に見えるように、ユニフォームの胸と背につけること。
ただし、跳躍競技（走高跳・棒高跳・走幅跳）に出場する選手はどちらか一方でもよい。
- ②トラック競技に出場する選手は、主催者が準備した腰ナンバー標識を必ずパンツの左右横やや後方につけること。

③男子共通3000mについては、別ナンバーを受付にて配布する。

4 選手招集について

- ①選手招集場所は第2ゲート付近とする。
 ②選手招集完了時刻は下記のとおりとする。

		招集開始時刻	招集完了時刻
トラック種目		競技開始30分前	競技開始20分前
フィールド種目	男子 走高跳	競技開始40分前	競技開始30分前
	男子 走幅跳 女子 走高跳・走幅跳	競技開始50分前	競技開始40分前
	棒高跳	競技開始70分前	競技開始60分前
	投てき（全種目）	競技開始40分前	競技開始30分前

※棒高跳は、現地招集を行う。

ただし、下記の種目については組別の招集とする。

1000m		1500m	
1～6組	競技開始 20分前	1～2組	競技開始 20分前
7～9組	競技開始 5分前	3組	競技開始 5分前

- ③招集完了時刻に遅れた選手は棄権とみなす。
 ④リレーのオーダー票は招集完了時刻1時間前までに提出のこと。
 ⑤2種目を同時に兼ねて出場する選手は、あらかじめ競技者係に申し出ること。

5 競技について

- ①競技順は、プログラム記載の番号順とする。
 ②その競技をする選手以外は、トラックおよびフィールド内に立ち入ることはできない。
 ③トラック競技のスタートについては、下記のとおりとする。
「不正スタートについては、各レースでの不正スタートは1回目からすべて失格とする。」
 ④スターターの合図は英語とする。（「On your marks」、「Set」）
 ⑤小学生のスタートの合図は日本語とする。
 ⑥小学生のスタートはクラウチングスタートを原則とするが、スタンディングスタートも認める。
 スタートは同じ競技者が2回の不正スタートをしたとき、その競技者を失格とする。
 ⑦短距離走では選手の安全のため、決勝線到着後も自分に割り当てられた走路を走ること。
 ⑧レーンで行う競技種目で棄権者があった場合は、そのレーンをあける。
 ⑨リレー競技のマーカーの使用は個人の物を認めるが、1カ所のみとする。使用したマーカーはそのチームで処理する。
 ⑩跳躍・投てき競技の試技回数は3回とする。また、競技場内での跳躍・投てき練習は審判員の指示によって行うものとする。
 ⑪携帯電話等の通信機器・ビデオ・デジタルカメラ等を競技場内に持ち込むことはできない。コ

一チエリアからのコーチの持つ映像を見せることはできる。ただし、選手が機器等を手に持って画像を確認することはできない。

6 競技用具について

①競技に使用する用具は、主催者が用意したものを使わなければならない。

個人所有のポールの検査は最終点呼時に跳躍審判員が実施する。

②練習用としても、個人の用具を競技場に持ち込んで서는ならない。

7 走高跳・棒高跳のバーの上げ方（ただし、天候等により変更あり）

		練習								以降
走高跳	男子	135	140	145	150	155	160	165	170	3cm 刻み
	女子	115	120	125	130	135	140	145	148	3cm 刻み
棒高跳		190	200	210	220	230	240	250	260	10cm 刻み

8 競技場への入退場について

種目別入退場口は下記の通りとする。各ゲートへは競技場外周を利用して移動すること。

第1ゲート：第1コーナー付近からスタートするトラック競技

第2ゲート：1500mおよび棒高跳・投てき競技

第3ゲート：第3コーナー付近からスタートするトラック競技および走高跳

第4ゲート：100m付近からスタートするトラック競技および走幅跳

9 その他

- ① やむを得ず棄権するときは、競技者係まで必ず届け出ること。
- ② 応急処置を要する健康上の問題が発生した時は、スタンド下の救護室に連絡すること。
- ③ 更衣室はメインスタンド下更衣室を利用してもよい。
- ④ 記録は競技場メインスタンド下正面玄関付近に掲示する。

○競技会で使用される主な略号について

日本語表記	略号
欠場	DNS
途中棄権	DNF
記録なし	NM
失格	DQ
標準記録突破による通過者 または順位による通過者	Q
記録による通過者	q
愛媛県新県記録（愛媛県タイ記録）	PR（=PR）
愛媛県新高校記録（愛媛県高校タイ記録）	PHR（=PHR）
愛媛県新中学記録（愛媛県中学タイ記録）	PJR（=PJ）
大会記録	NGR

第64回全日本中学校通信陸上競技愛媛県大会参加標準記録

男子		女子	
種目	写真判定	種目	写真判定
1年 100m	13"90	1年 100m	14"80
2年 100m	12"80	2年 100m	14"20
3年 100m	12"50	3年 100m	14"00
200m	26"00	200m	30"00
400m	1'02"00	/	/
800m	2'20"00	800m	2'40"00
1年 1500m	5'20"00	1年 1500m	6'00"00
共通 1500m	4'50"00	共通 1500m	5'20"00
3000m	10'35"00	/	/
110mH	21"00	100mH	19"00
走高跳	1m45	走高跳	1m30
棒高跳	基準を設けない	/	/
走幅跳	5m00	走幅跳	4m20
砲丸投	7m00	砲丸投	8m00
四種競技	基準を設けない	四種競技	基準を設けない
4×100mR	各校1チーム	4×100mR	各校1チーム

1：参加標準記録は、上記の通りとする。

2：男子 400mについては、上記の標準記録を突破していなくても100mもしくは、200mの標準記録を突破している者のエントリーを認める。

3：四種競技については、参加標準記録を設けないが、走高跳の開始記録は、下記の通りとする。

男子・・・1m40（練習 1m35） 女子・・・1m20（練習 1m15）